

黒い体に秘められた自然の不思議

黒いトノサマバッタ



紀宝の
珍百景
認定

今回の珍百景は、神内地区で見つかった黒いトノサマバッタをご紹介します。

トノサマバッタといえば、草むらに溶け込むような緑色や茶色の姿を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。しかし、このバッタは頭から羽、足先まで全身が黒色。草の上にいるにもかかわらず、その存在感は抜群で、思わず二度見してしまうほどのインパクトがあります。普段見慣れているトノサマバッタとはまったく異なる姿に、発見した人も驚いたそうです。

このような黒い体色の個体は、遺伝的な要因や生育環境の影響によって現れることがあるとされ、「黒化」と呼ばれる現象の一例と考えられています。ただし、自然界ではあまり多く見られないため、見つけることができればちょっとした幸運かもしれません。

身近な自然の中にも、思いがけない発見や驚きが隠れています。散歩や外遊びの際には、周りの生きものに目を向けてみると、新たな「珍百景」に出会えるかもしれません。

— 珍百景を募集 !! —

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ？」って思わず言うてしまったような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係（☎33-0334）までご連絡ください。お待ちしております。

ひゃっぴー

短冊に詰まった大きな夢

今年も成川地区で行われた七夕を取材しました。子どもたちが飾った短冊を眺めていると、「まほつつかいになりたい」、「けいさつかんになりたい」、「おもちゃやさんになりたい」など、夢がいっぱい。どれも真剣な願いで、思わず見入ってしまいました。

中には思わずクスッと笑ってしまふ願いごともあり、「大人になると、願いごとは現実的なことになるな」としみじみ感じました（笑）。また、自分も子どものころは「サッカー選手になりたい」と書いたことを思い出しました。願いがかなうことももちろん大切ですが、夢をまっすぐ口にできることが、子ども時代の特権なのかもしれません。今年も子どもたちの短冊に、たくさんの元気をもらった取材でした。

（昔の夢、今はどこへ… 田中 健太郎）

花火と言えば？

今回の特集では、紀宝町花火大会について紹介しました。取材を通して、花火の魅力や花火大会の裏側など、さまざまなお話を伺うことができました。今回の取材をきっかけに、これまでとは違った視点で花火を楽しめそうだと感じています。また、取材にご協力いただいた皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。



打ち上げ花火もよいですが、私は線香花火にも心を惹かれます。子どもの頃は魅力がよく分かりませんでした。大人になって改めて楽しむと、小さな花火が最後まで力強く輝く姿に魅力を感じます。家族や友人と、誰が一番長く続けられるかを競い合ったことも、よい思い出です。ぜひみなさんも家族や友人と、誰が一番長く続けられるかを競い合ってみてください。

（花火の前に暑さで打ち上がりそう 曽越 大成）

